



外国人材が活躍する企業へ

雇用セミナーで3社が事例報告

名古屋市

名古屋市はこのほど、名古屋市中村区の名古屋国際センターで、外国人の雇用を考えるセミナーを開いた。企業関係者ら約150人が出席。愛知県や名古屋市における外国人労働者雇用の動向や、外国人在留資格制度を踏まえた採用事例などを報告した。

冒頭、名古屋市民経済局の下山浩司産業部長が挨拶。東海3県と名古屋、地元経済団体などがまとめた「外国人労働者の適正雇用と日本社会への適用を促進するための憲章」を紹介した。

また、愛知県担当者が「あいち多文化共生推進プラン2022」(案)を、名古屋市担当者が第2次多文化共生推進プランを、それぞれ説明した。

基調講演では、行政書士・社会保険労務士の田澤満が「外国人材が活躍する企業とは」と題して講演。在留資格制度の概要を説明したうえで「近年では海

外の大学生の新卒採用や留学生の雇用も見られるようになった。入国管理局は偽装滞在対策を強めている。コミュニケーションをとり、本人のライフプランを尊重した採用計画が求められる」と語った。

事例報告では、コスモレコム(本社名古屋市中区)とセパン銀行(同東京都)、タナパックス(同名名古屋市)が、自社の取り組みを紹介した。

企業関係者ら約150人が参加したセミナー

企業経営の向上について会の「知能指数」を発表し、一躍社内ですべていく時、工場環境が悪い、社員モチベーションが低い、方向性が伝わらないなど、あれもこれもと課題を取り上げ総合的な議論になってしまい、結局、何も

着眼大局 着手小局

奮起求められる人間力

◆ 3 ◆

解決まで至らなかったというご経験があるのではないのでしょうか。今回は人間力の大切な要素のひとつである、「物事を深く考える」ことについて、取り上げていきたいと思

1995年に「EQ」ころ

ものごとを深く考えるには

今では半分が限度です。それまでに相手の関心を引かなければ、みんなメールのチェックをはじめてしまうんです」という広告代理店の嘆きをもとに、情報過多になれば注意力は散漫になっていくことを語っています。

ゴールマンは、集中力は筋

集中の第一歩は一点突破から

く一歩は、一点突破から。具体的

肉と同じようなもので、向上させることも、衰えた後にリハビリをして復活させることも可能であることを示しており、そのためにマインドフルネスの大切さ、複数の仕事を同時に進めるマルチタスキングからの脱却を訴えています。

【加藤滋樹・プレジデント

(毎週土曜日に掲載)

最優秀事例賞(大野耐一・杉山友男賞)に

青森オリンパスの福士美紀子氏
ダイハツ工業の中川 智雄氏

名古屋市中村区産業労働センター(あいち)で開か